FIG株式会社（証券コード：4392）

決算説明資料

2026年12月期第3四半期

もっとワクワクした未来がある。

[2026.11.13]

目次

01 会社紹介

02 2026年12月期第3四半期決算概要

03 事業のトピックス

01 | 会社紹介

会社概要

会社名	FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)
設立日	2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイト設立は2002年
代表者	代表取締役社長 村井 雄司
所在地	大分県大分市東大道二丁目5番60号
資本金	30億円
従業員数	734名（2025年12月末現在連結）



グループ会社紹介

モバイルクリエイト

IoT・ペイメント

- ✓ IP無線システム
- ✓ 動態管理システム
- ✓ タクシー配車・バス運行管理
- ✓ ペイメントサービス

REALIZE

ロボット・オートメーション

- ✓ 半導体・自動車関連装置
- ✓ 金型・精密加工
- ✓ ロボット



ケイティーエス

IoT（スマートホテル向け）

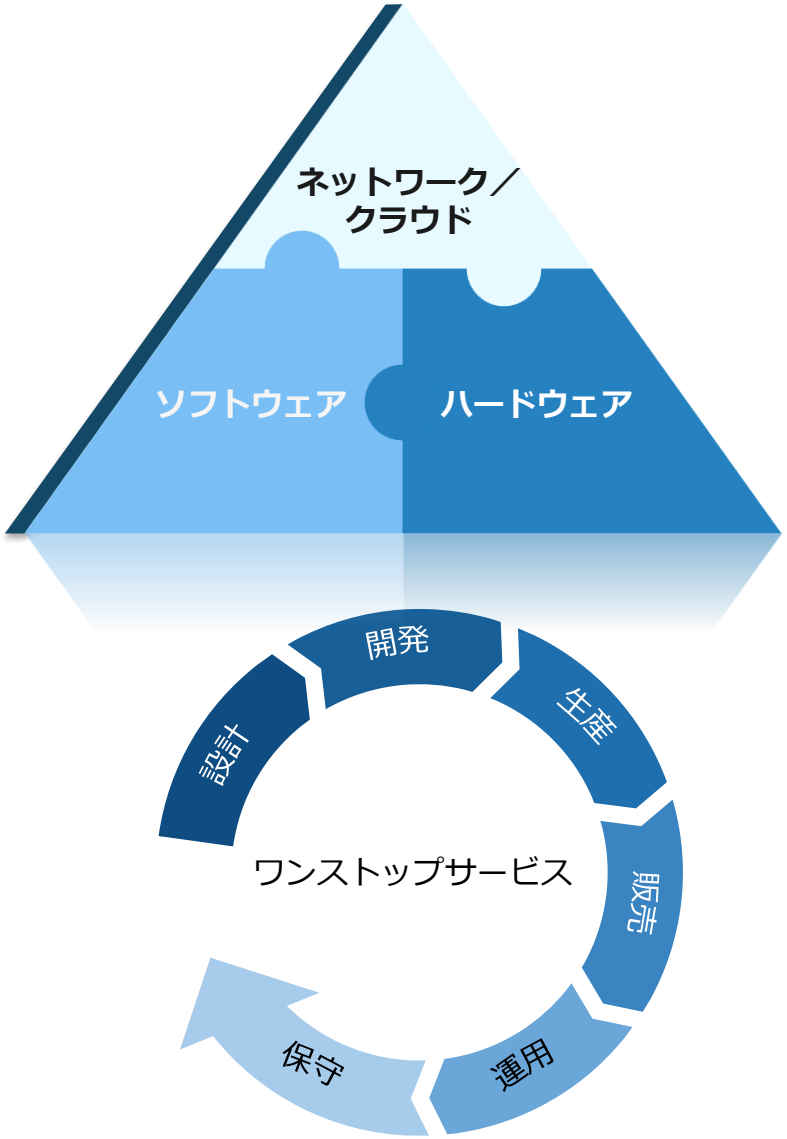
- ✓ マルチメディアシステム
- ✓ IoT基板製造

その他のグループ会社

PRIMECAST　ciRobotics　caos

- ✓ 物流システム
- ✓ ドローン
- ✓ 戦略開発基盤（グループ開発特化）

当社グループの強み



ソフトウェア **ハードウェア** **ネットワーク／クラウド**

ソフトウェア・ハードウェア・ネットワーク／クラウドを横断的に自社で開発・運用できる技術基盤と、現場実装を通じたワンストップ提供力が強み。

ソフトウェアとハードウェアを一体で設計・開発することで、用途や現場特性に最適化されたハードウェアを提供するとともに、ネットワーク／クラウド基盤により多様なサービスを安全かつ安定的に運用。

この3つの技術領域をカバーすることで、IoT・ペイメントといったサービス領域にとどまらず、ハードウェアであるロボット開発や上位システムとの連携など、オートメーション領域の事業拡大が可能。

02 | 2026年12月期第3四半期決算概要

FY2026 3Qポイント

3Q単期では主力のIoT事業の売上が想定を下回る一方、ペイメント事業とロボット・オートメーション事業では将来の成長に向けた事業展開が順調に進捗

■主要会社別

モバイルクリエイト（3Q単期は売上が想定を下回る）

・当四半期会計期間において、大型フロー案件の売上計上がなかったことが影響。
・3Gサービス終了に伴う低利用ユーザーの解約により、サブスク売上が一時的に減少。（足元では再拡大中）
・クラウド等のインフラコスト上昇。（サービス価格への転嫁を推進）

REALIZE（成長に向けた取り組みが順調に進捗）

・自社製品の事業化を加速させ、自動化ソリューションの高度化を推進。
・業績も順調に推移。

ケイティーエス（グループ再編）

・ホテル向けサービスは苦戦が続き、収益改善に向けて立て直し中。
・事業特性の異なるホテルマルチメディアシステム事業と電子基板・メカトロ機器製造事業を分割し、経営資源の整理・集約を推進。

■中期経営計画（2026年12月期～2028年12月期）の進捗

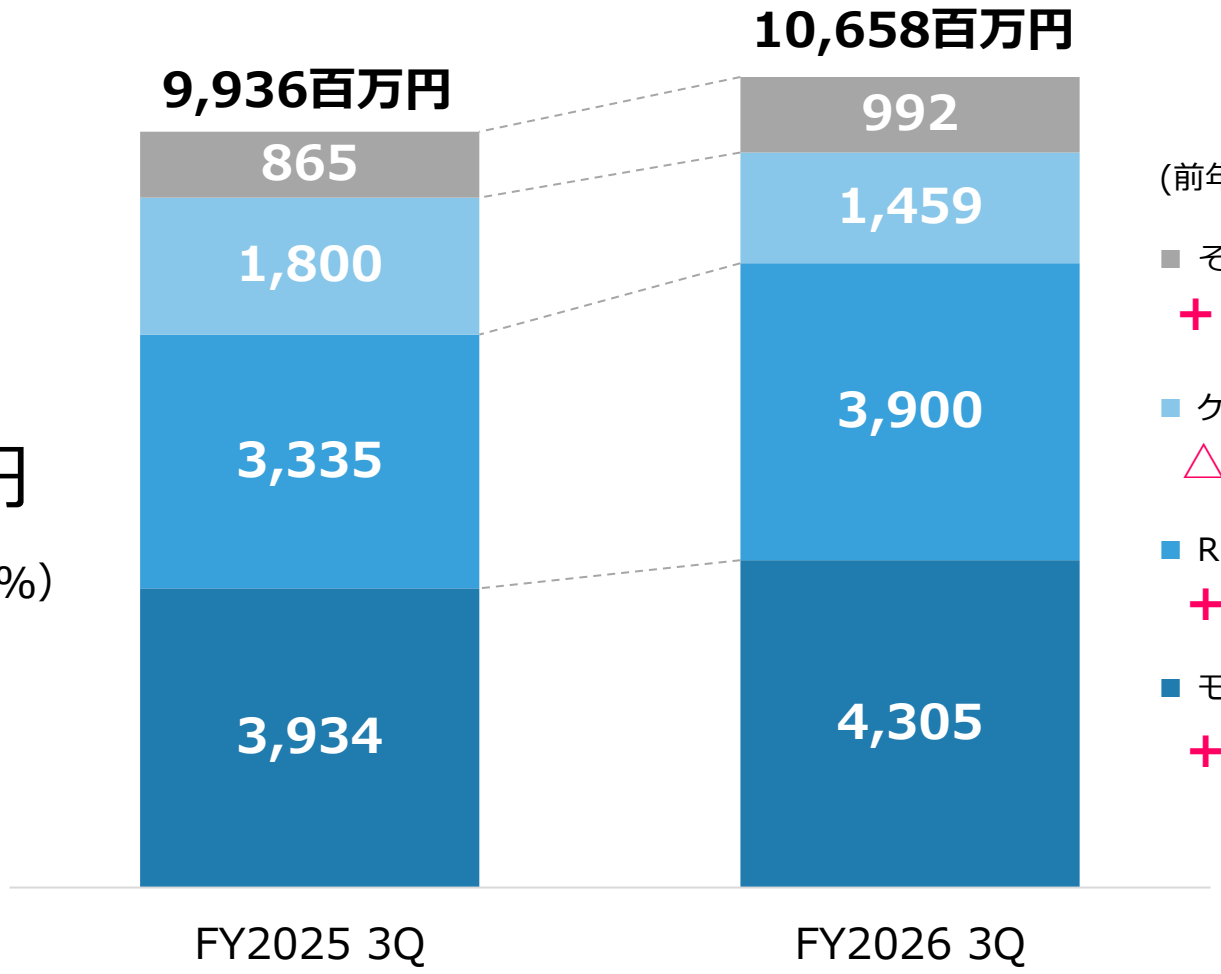
当3Qでは業績が一時的に停滞したものの、中期的な成長戦略に変更はなく、成長に向けた各施策を継続して推進。
特に、オートメーション領域では、当初の想定以上に取り組みが進展しており、今後の事業拡大や収益貢献に向けた基盤が着実に強化されている。

売上高 3QYoY

FY2026 3Q 売上高

106 億円

前年同期比：＋721百万円（＋7.3%）



(前年同期比)

■ その他
＋127百万円 (+14.8%)

■ ケイティーエス
△341百万円 (△18.9%)

■ REALIZE
＋564百万円 (＋16.9%)

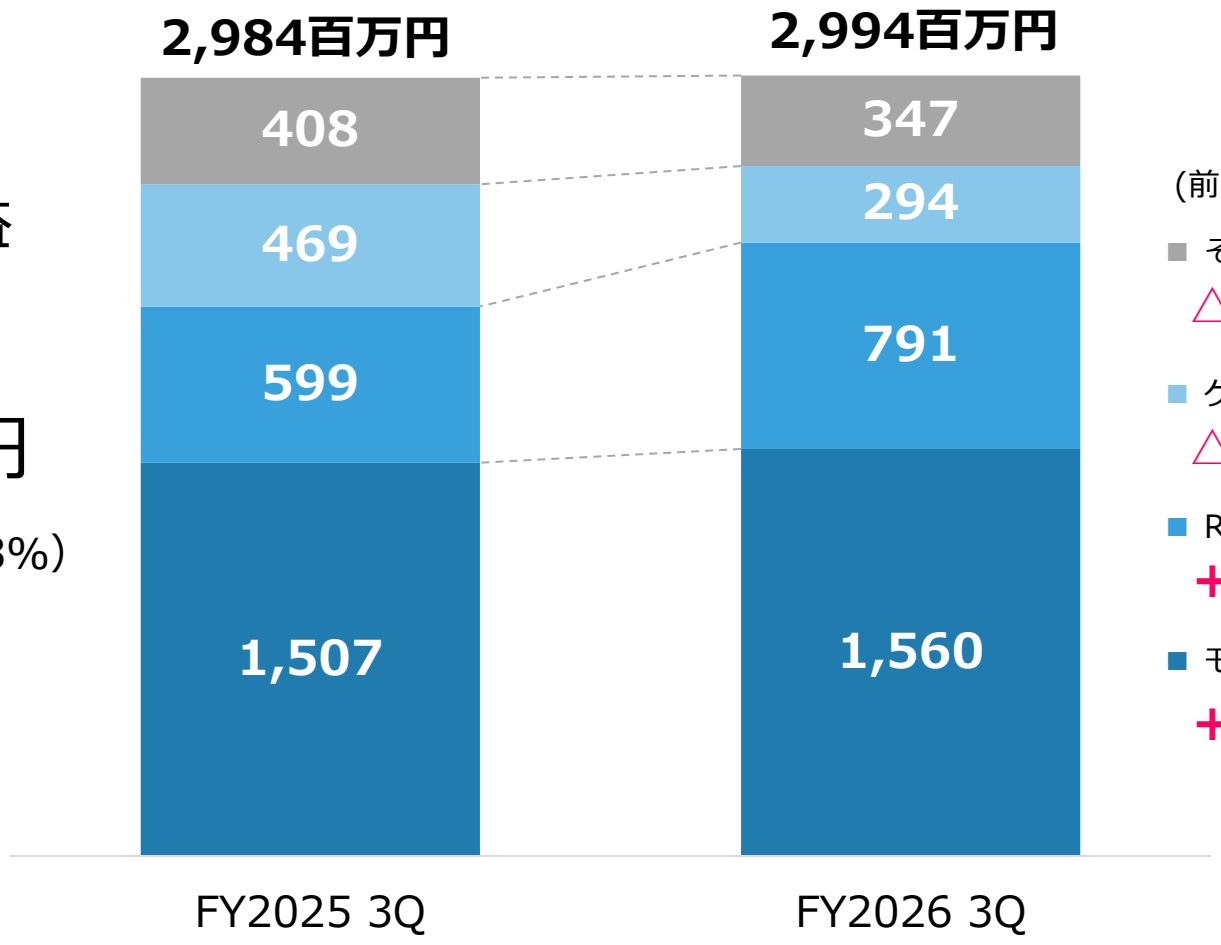
■ モバイルクリエイト
＋370百万円 (+9.4%)

売上総利益 3QYoY

FY2026 3Q 売上総利益

29 億円

前年同期比：+9百万円（+0.3%）



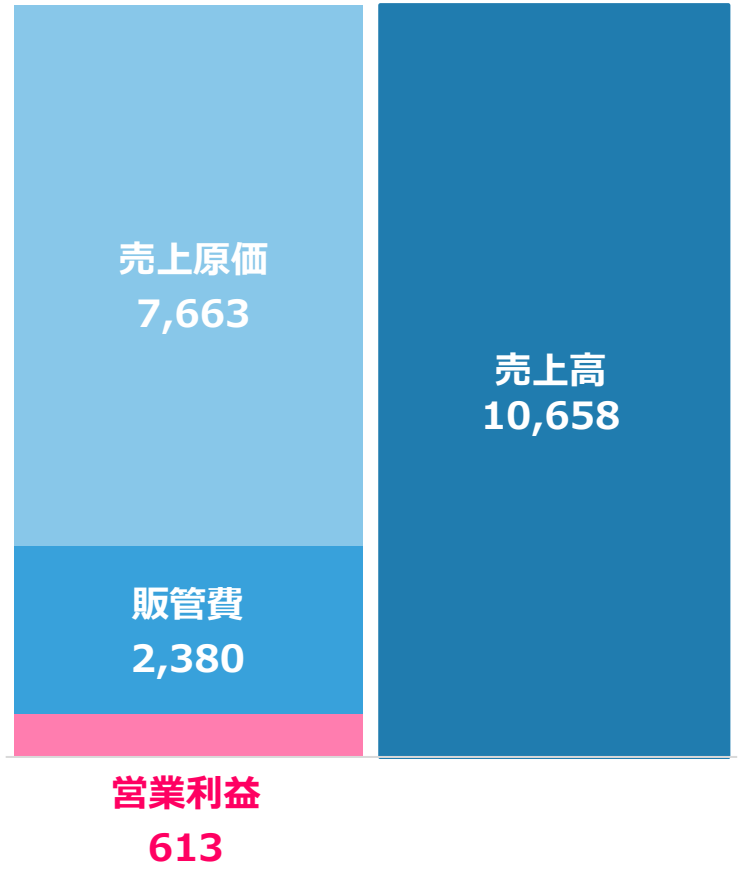
(前年同期比)

- その他
  △60百万円 (△14.8%)
- ケイティーエス
  △175百万円 (△37.3%)
- REALIZE
  +192百万円 (+32.1%)
- モバイルクリエイト
  +52百万円 (+3.5%)

営業利益 3Q（前年同期比増減要因）

収益構造

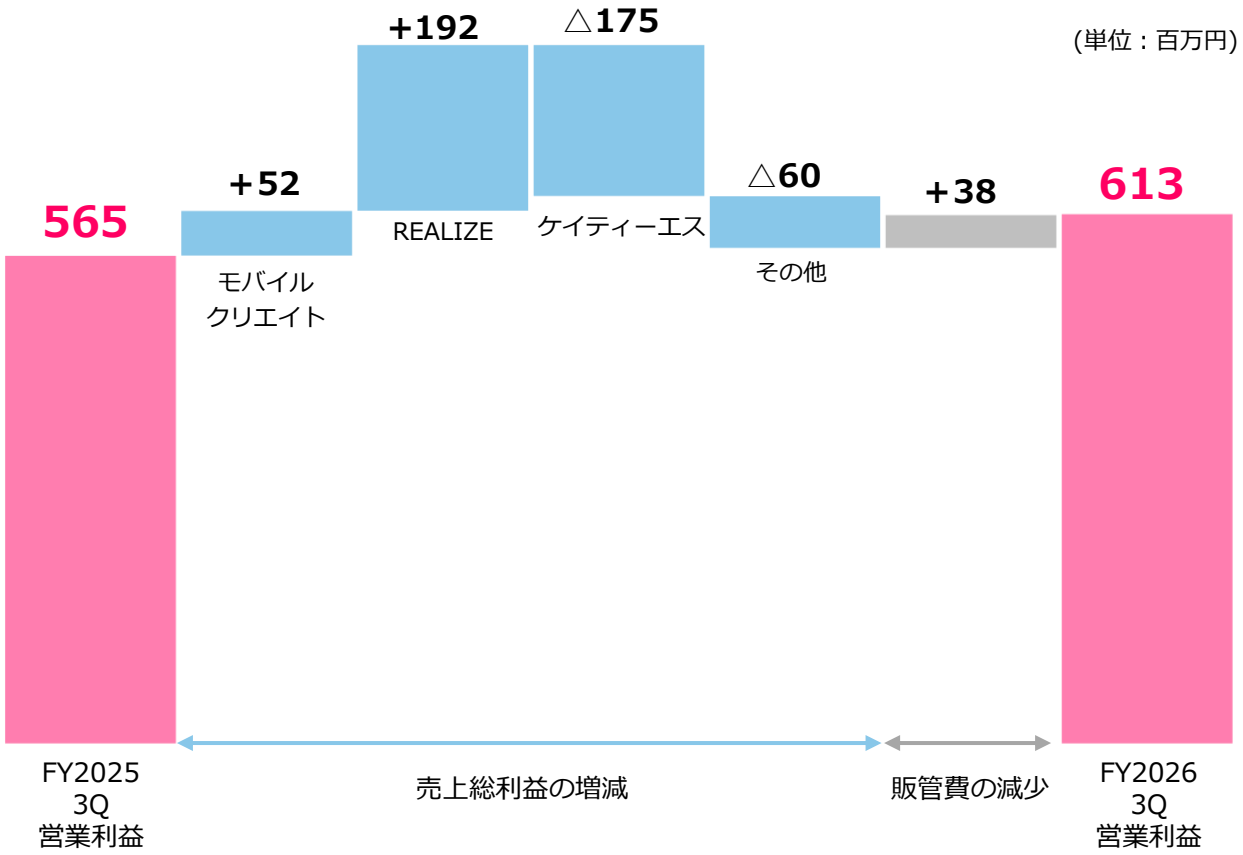
(単位：百万円)



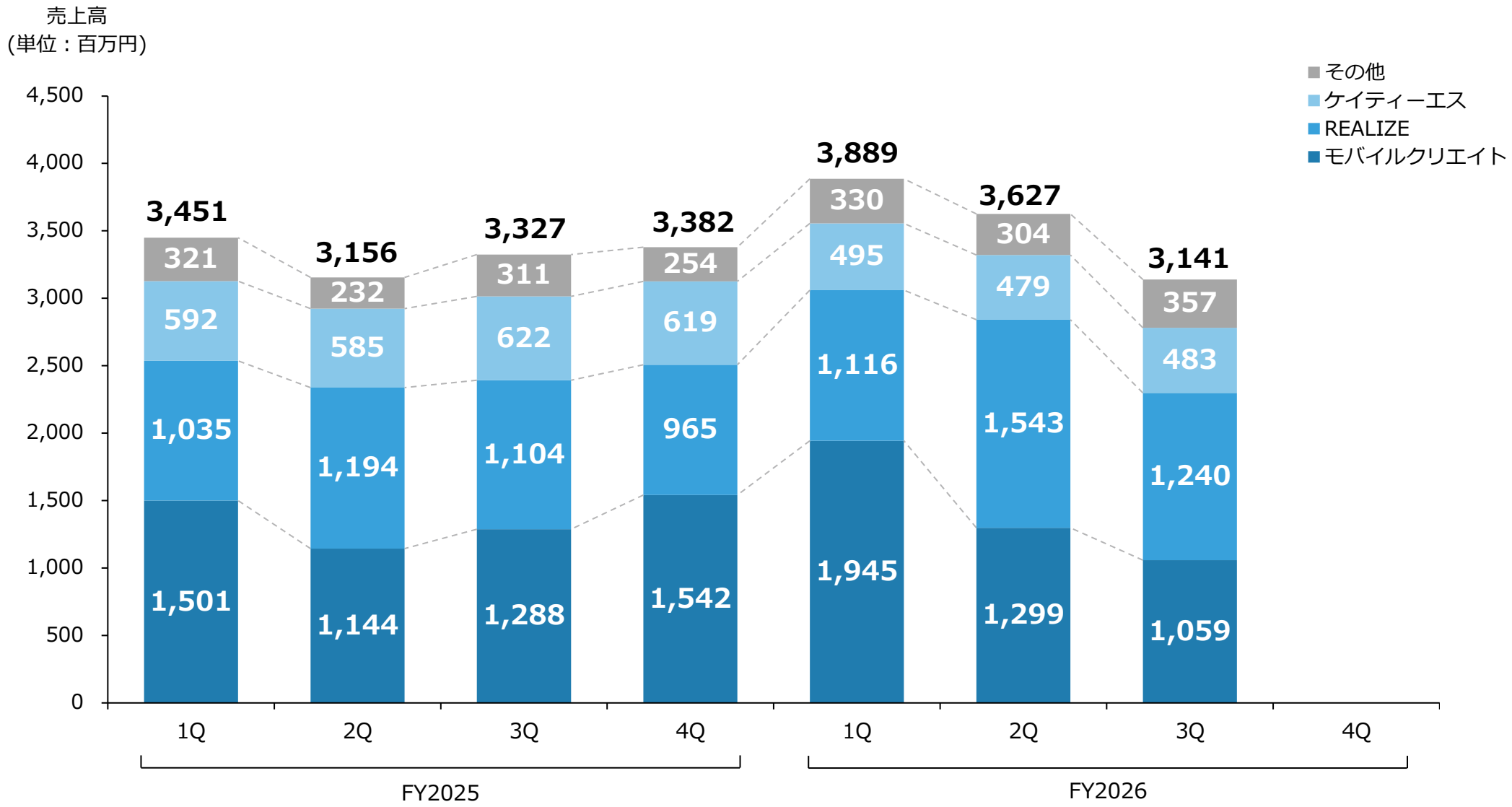
営業利益 6.1 億円

前年同期比：＋47百万円（＋8.5%）

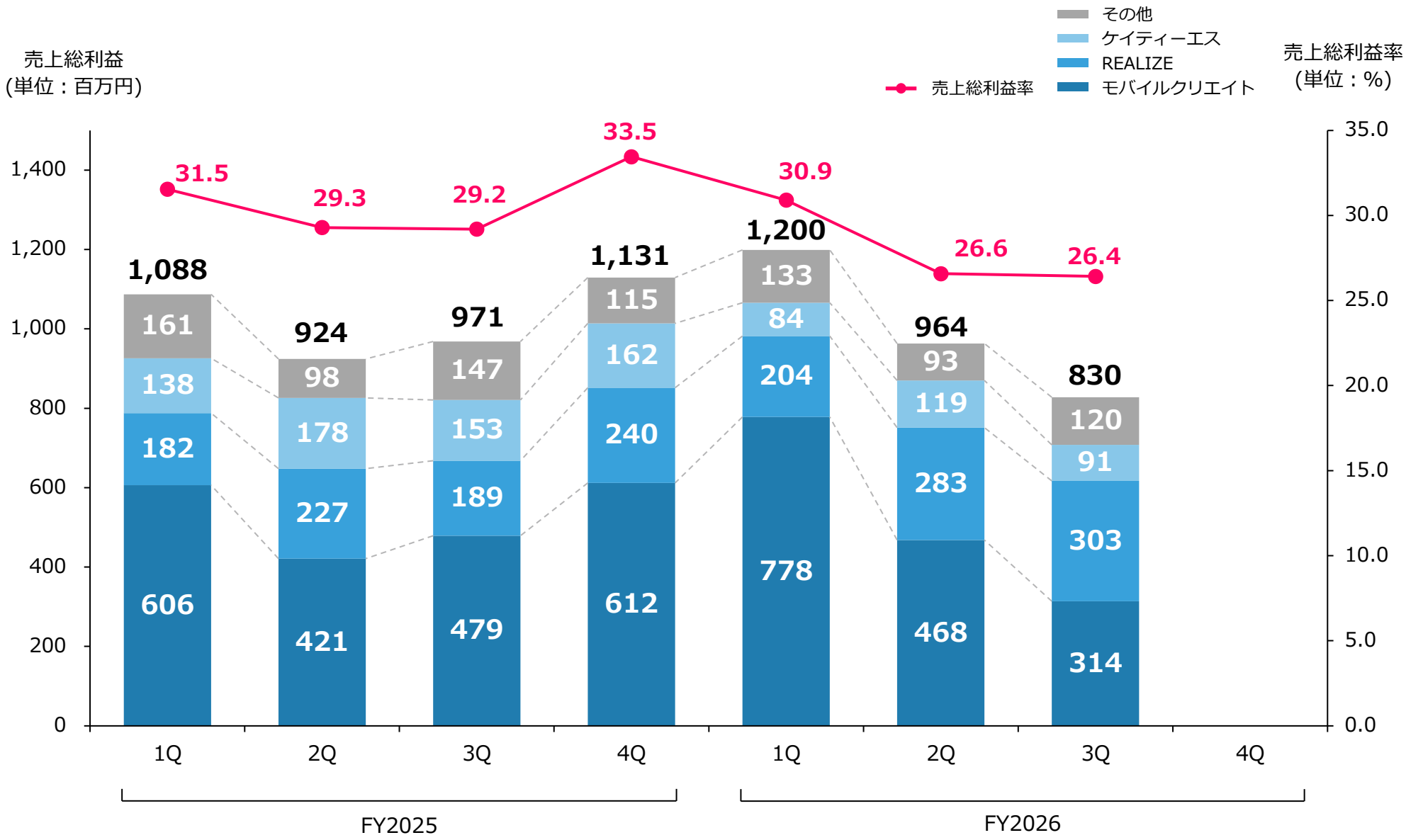
(単位：百万円)



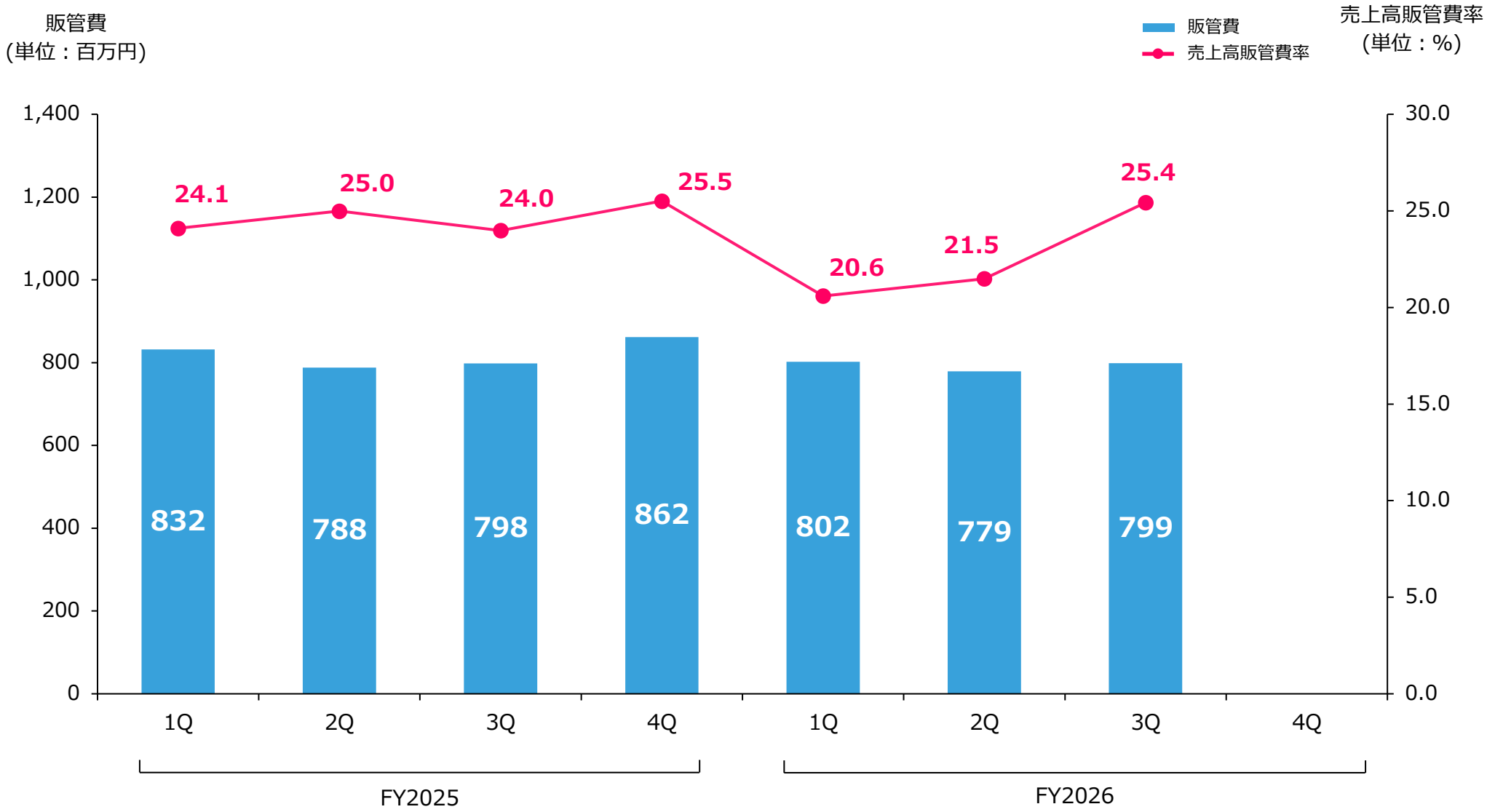
主要3社別 売上高 四半期推移



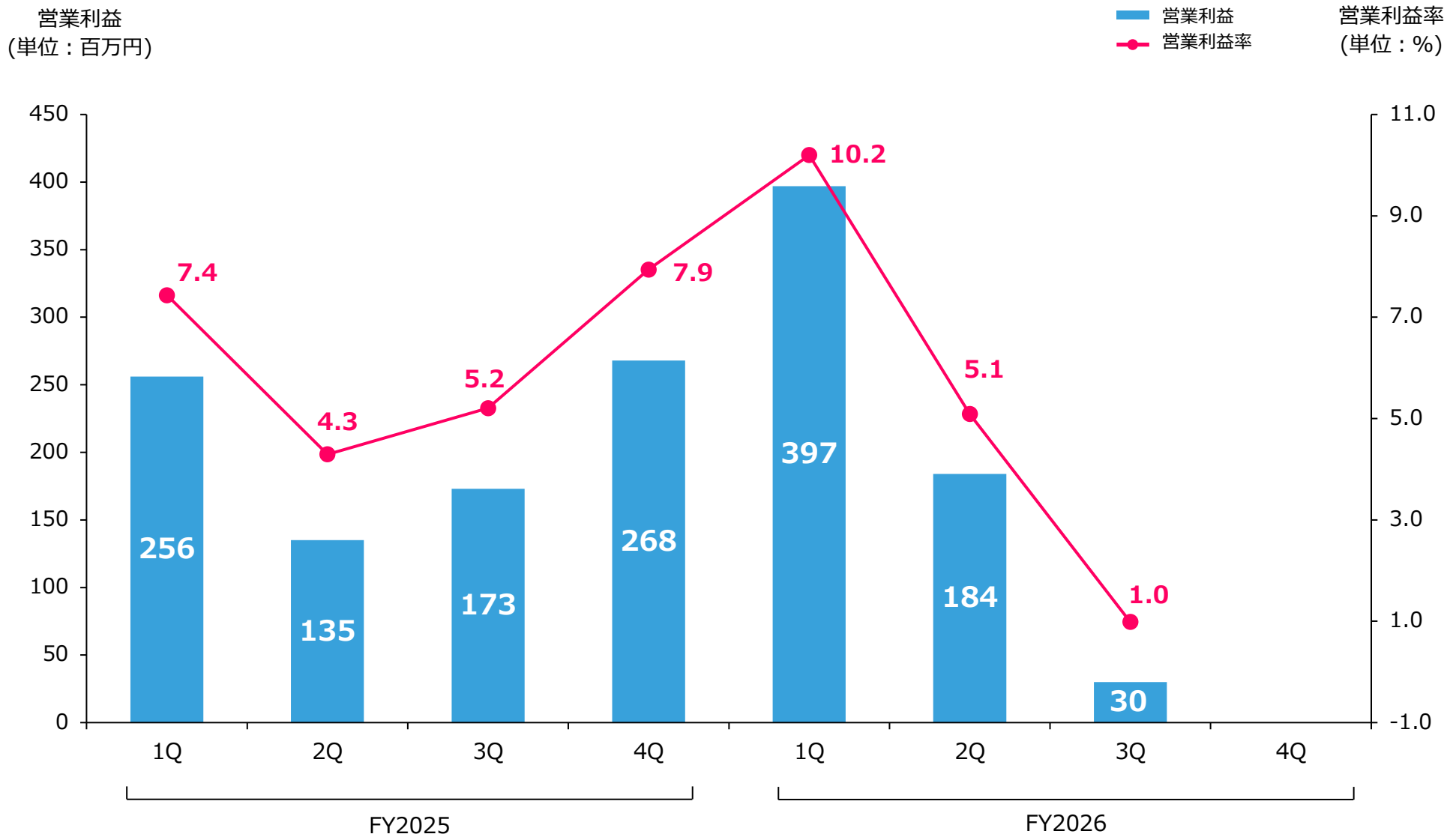
主要3社別 売上総利益 四半期推移



販管費 四半期推移


販管費
(単位：百万円)
売上高販管費率
(単位：%)
販管費
売上高販管費率
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0
30.0
25.0
20.0
15.0
10.0
5.0
0.0
24.1
25.0
24.0
25.5
20.6
21.5
25.4
832
788
798
862
802
779
799
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q
3Q
4Q
FY2025
FY2026

営業利益 四半期推移


営業利益
(単位：百万円)
営業利益
営業利益率
営業利益率
(単位：%)
450
400
350
300
250
200
150
100
50
0
11.0
9.0
7.0
5.0
3.0
1.0
-1.0
7.4
4.3
5.2
7.9
10.2
5.1
1.0
256
135
173
268
397
184
30
1Q
2Q
3Q
4Q
1Q
2Q
3Q
4Q
FY2025
FY2026

損益計算書

連結損益計算書

（単位：百万円）

	FY2025 3Q実績	FY2026 3Q実績	前年同期比	通期計画	進捗率
売上高	9,936	10,658	+7.3%	14,000	76.1%
売上総利益	2,984	2,994	+0.3%	4,300	69.6%
販管費	2,419	2,380	△1.6%	–	–
営業利益	565	613	+8.5%	1,000	61.3%
経常利益	557	600	+7.8%	1,000	60.0%
最終利益	630	365	△42.0%	680	53.8%

※最終利益＝親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	2025年12月31日	2026年9月30日	増減
現金預金	1,889	3,157	+1,267
その他流動資産	8,557	8,003	△553
固定資産	5,192	5,607	+414
資産合計	**15,640**	**16,769**	**+1,128**
有利子負債	3,303	1,859	△1,444
転換社債	500	–	△500
その他負債	2,972	3,368	+396
負債	**6,776**	**5,228**	**△1,547**
純資産	**8,863**	**11,540**	**+2,676**
負債・純資産合計	**15,640**	**16,769**	**+1,128**

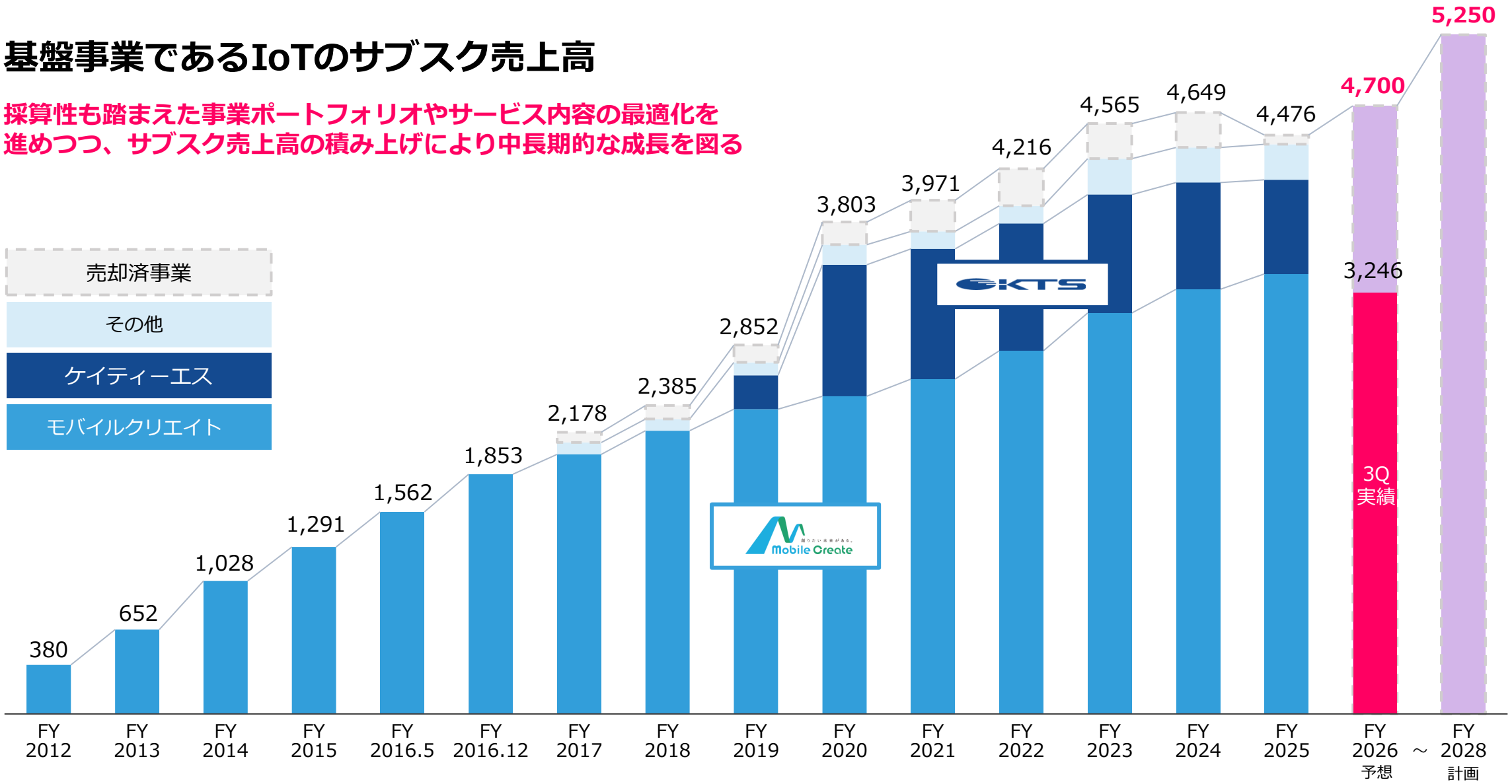
自己資本比率	55.8%	68.1%	

サブスク売上高の推移

（単位：百万円）

基盤事業であるIoTのサブスク売上高

採算性も踏まえた事業ポートフォリオやサービス内容の最適化を進めつつ、サブスク売上高の積み上げにより中長期的な成長を図る



※当社設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績はモバイルクリエイト株式会社の連結実績で集計しております（ 2016年12月期は7ヶ月間のため、12ヶ月間に換算にて表示）

03 | 事業のトピックス

REALIZEの変革に向けたロードマップ

自社製品による自動化ソリューションを新たな事業の柱へ

- REALIZEの持続的な成長に向けた**2028年度までの重点的な事業展開**を紹介。
- 受託型装置製作を基盤に、**自社製品で成長する自動化ソリューションメーカー**への進化を目指す。

	FY2026	FY2027	FY2028（中計最終年度）
半導体	**GPUパッケージの自動着脱装置：**バーンイン工程で台湾企業と共同開発		
	開発完了・台湾工場に実機を納入し、試験運用と追加要望に対応中	台湾企業との連携強化 量産ラインへの導入を目指す	ターゲット **台湾での導入拡大・販路拡大**
	設備保全作業の自動化装置：大手設備メーカーと共同開発		
	開発完了・大手設備メーカーにて検証・評価中	実機を工場に導入予定	ターゲット **国内外の半導体工場へ展開**
半導体その他	**環境試験器に係る工程自動化：**大手環境試験設備メーカーと共同開発		
	工程自動化への連携開始、構想設計	試作機開発・検証・評価	ターゲット **実用化・国内外の工場へ展開**
ロボット	**ヒューマノイドロボットのコンポーネント：**ロボット向け要素技術メーカーと連携		
	自社独自技術によるコンポーネントの検査自動化と製造について連携開始	自動検査装置開発と製造ライン構築	ターゲット **量産開始**
	搬送ロボット（AGV・AMR）：福岡の匠社と連携し、先行投資		
	継続投資事業・新型機開発	匠社との連携強化（M&Aも検討）	ターゲット **搬送ロボット事業の本格展開**

※本ロードマップは現時点における取り組みと目標を示したものであり、今後の開発状況や市場環境等により変更となる可能性があります。

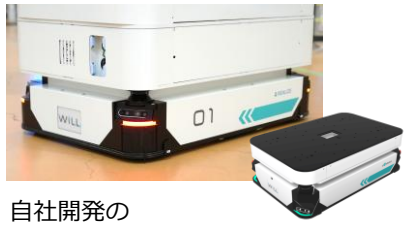
半導体メーカー向けにモバイルマニピュレータ「WILL-MoMa」を開発

大手半導体メーカーから寄せられた、半導体工場における自動化やクリーンルーム対応などの要望を踏まえ、自社開発の搬送ロボットAMR「WILL-FA」とロボットアームを組み合わせ、REALIZE独自の制御技術を搭載したモバイルマニピュレータ「WILL-MoMa」を開発。空間を理解し環境の変化に応じて自ら判断・行動する**「フィジカルAI」**を活用した自動化ソリューションを展開。

NEW

WILL-MoMa





自社開発の
自律搬送ロボット「WILL-FA」

他社連携	ロボットアーム
REALIZE	制御・システム統合
REALIZE	自律搬送ロボットAMR（WILL-FA）

大手半導体メーカーへ導入済

半導体製造現場における装置間搬送の自動化を実現し、作業者の負担軽減やクリーンルームの高い清浄度の維持に加え、夜間などの無人時間帯における装置稼働の効率化を図る。

- クリーンルーム対応
- 柔軟なカスタマイズ
- SLAM技術による自律走行
- 高度な一元管理システム（JOS）
- ワイヤレス充電

現行機





MoMa-GIANT ***MoMa-SLIM***

他社連携	ロボットアーム
REALIZE	制御・システム統合
他社連携	自律搬送ロボットAMR

田主丸中央病院で「WILL-SR」を活用した検体搬送の実証実験を実施

病院現場が抱える人手不足や業務負担の課題に対し、ロボット活用による省人化・業務効率化の可能性を検証

実証実験の概要

院内スタッフがWILLに検体を搭載し、北1病棟から外来前、薬剤科前、検査科前までの搬送および往復走行を実施。

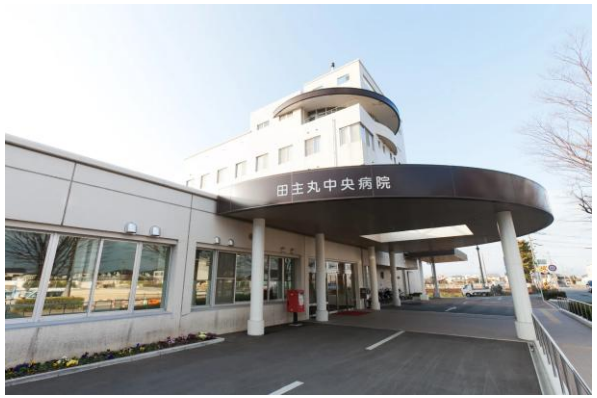
- 配膳車、車いす、ストレッチャーなどとのすれ違いや回避動作を確認
- WILLに搭載されたLiDARセンサーを活用することで、院内の自動ドアを通過できることを確認

今後の展開

走行途中の充電切れを防ぐ「自動充電機能」を追加した新型機体の開発や、現場のニーズに合わせた収納庫のラインアップ拡充を推進







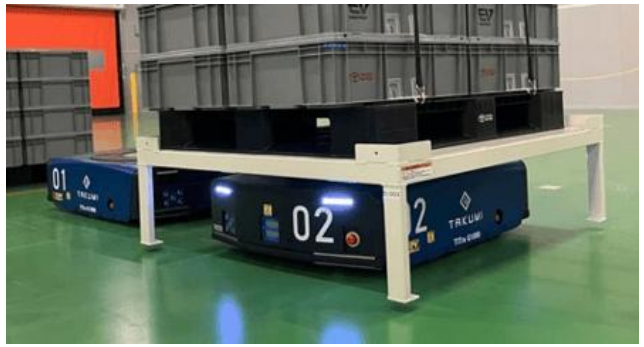
社会医療法人聖峰会 田主丸中央病院



FIGグループが開発したAMR
搬送ロボット「WILL-SR」

ロボット導入事例（匠社との連携）

トヨタバッテリー株式会社 宮城第6・第7工場へ「TiTra G1000」を導入





導入場所	トヨタバッテリー株式会社 宮城第6・第7工場
導入内容	国内完成品入出荷・海外完成品出荷エリアにおける パレット搬送の自動化
導入機体	株式会社匠製AGV「TiTra G1000」
関連システム	ATS（運行管理システム）、WCS（倉庫制御システム）
目的	搬送作業の省人化・効率化
導入効果	AGV導入と作業改善により自動搬送を実現。 シートシャッターとの連携も含め、安定稼働中

新居第１工場、
新居第２工場に続く
導入実績の拡大







FIGグループの技術連携

TAKUMI
AGV・システム提供
FIG資本業務提携先

REALIZE
AGV製造

PRIMECAST
WCS開発

新宿区と「新宿区施設窓口におけるキャッシュレス決済業務」に関する契約を締結

自治体の導入施設事例

スポーツ施設　保健所　美術館　運転免許センター

公園　土木事務所　警察署

導入実績：**34** 自治体

端末累計台数：約 **800** 台



モバイル型決済端末
「PT-750」



東京都新宿区

新宿区の**区施設窓口37か所**に
モバイル型決済端末「PT-750」
を配置し、各種手数料や使用料などの支払いにおけるキャッシュレス決済の対応窓口を拡充。



東京23区
の自治体
初導入

- マルチマネー対応
- 持ち運び可能なモバイル決済端末
- POS機能（販売時点情報管理）とともに精算業務の一本化

✓ 窓口利用者の利便性向上と行政サービスのデジタル化に貢献
✓ 自治体におけるキャッシュレス決済サービスのさらなる展開を目指す

位置情報管理用GPS端末「IM-832 」

スマートドライブ社の車両管理サービス向けGPSトラッカーとしてのラインアップ

Mobile Create 創りたい未来がある。

位置情報管理用GPS端末
IM-832

▷

SmartDrive Fleet スマートドライブの車両管理サービス



リアルタイムで位置情報を取得

車両の現在位置を高精度に把握

位置情報データをクラウド連携

取得データを車両管理サービスと連携し
車両データの利活用を実現

簡単設置・すぐに使える

シガーソケット接続で簡単導入
専用ソフトのインストール不要

販路拡大により法人向けモビリティ市場への展開を強化

- 法人フリート、営業車両、社用車管理など、車両運用の可視化と効率化が求められる領域を中心に展開
- スマートドライブのサービスラインアップ拡大に伴い、「IM-832」 の提供機会が拡大
- 今後はSaaS事業者への提供、幅広い車両管理サービスへの適用、異なるチャネルを通じた販路拡大を推進

スマホ感覚で使えるカメラ付き超小型IP無線機「IM-640」新登場



2026年10月20日より販売開始

1 超軽量・コンパクト設計
クレジットカードとほぼ同じサイズ。
重量は122gで、持ち運びの負担になりにくい。

2 音声・画像・動画・文字で情報共有
高性能カメラとチャット機能で、
現場の状況をリアルタイムに共有。

3 タッチで簡単操作
フルスクリーンのタッチ対応ディスプレイで、
スマートフォンのように直感的に操作。

4 ハードな現場に強い
IP68の防水・防塵性能で、
厳しい環境でも安定して業務をサポート。

IP無線システム
iMESH（アイメッシュ）
全国で通信・通話ができるIP無線システム。
多様なデバイスで現場の円滑な情報共有を実現。

iMESHシリーズラインアップ（一部）



IM-530
軽量・コンパクト



IM-560
キーボード搭載
ハイブリッドなスマホタイプ



IM-640
カメラ・チャット搭載
フルスクリーンタッチ

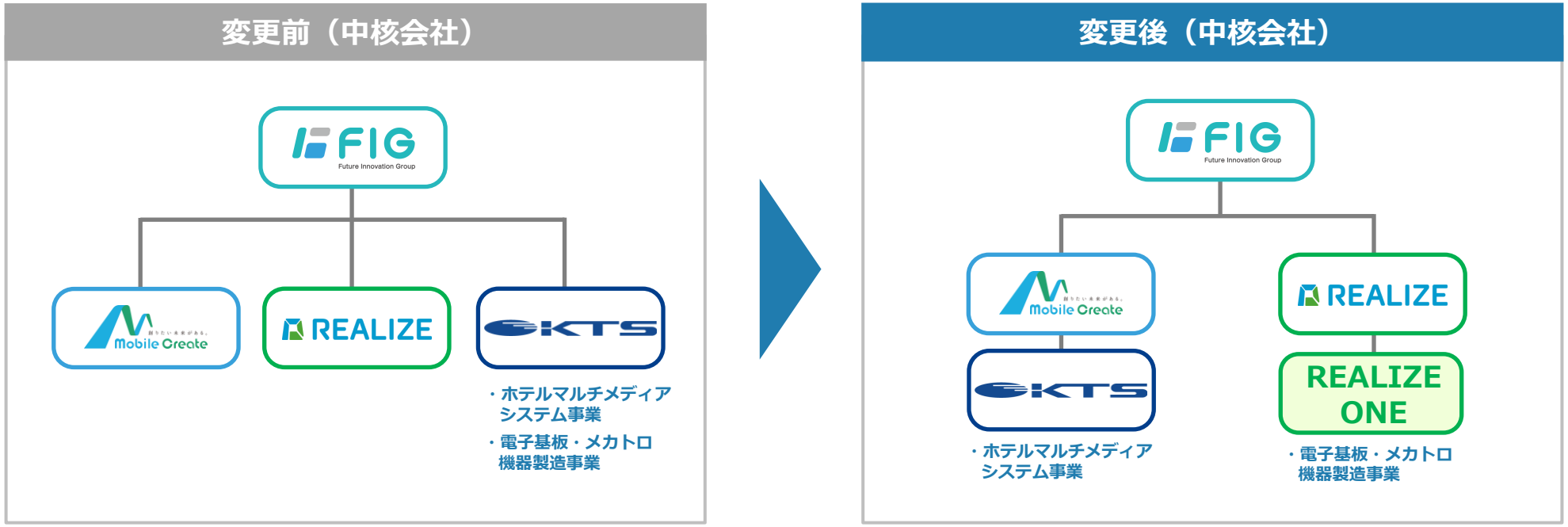
グループ再編

グループ組織再編により、各事業セグメントにおける事業及び経営資源の整理・集約を進める
IoT・ペイメント事業はモバイルクリエイト、ロボット・オートメーション事業はREALIZEに集約

組織再編概要

ケイティーエスの事業領域や事業特性の異なるホテルマルチメディアシステム事業と電子基板・メカトロ機器製造事業を分割し、セグメントに応じたグループ体制に再編

※グループ全体の組織図については本日開示した適時開示文書をご覧ください





【 連絡先 】　ＦＩＧ株式会社　経営企画本部
【　住 所　】　大分県大分市東大道二丁目5番60号
【 ＴＥＬ 】　097－576－8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。
これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

※　記載されている会社名・製品名・システム名などは、各社の商標、または登録商標です。